

# 基本方針

2022-23 年度 ガバナー信条

“Take Action for Rotary Future”

“Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう”

“世界の平和のために手を差しのべよう”

## 4つのFを感じながら

Fresh 斬新、Fellowship 連帯感、Find 出会う、Fun ワクワクする楽しみ

### 行動スローガン

心へ、地域へ、世界へ、そして未来へ

(自らの心へ、地元地域社会へ、平和を目指す世界へ、そして次の世代へ)

## 地区運営方針

- (1) ロータリーの奉仕理念(ideal of service) が確立された歴史を再認識し、**ロータリーの未来への可能性**に挑戦する。……⇒個々ロータリアンの覚醒促進
- (2) 未来を託す青少年奉仕活動の**新しいクロスプロモーション事業**をローターアクターと共に展開する。  
……⇒次世代ロータリーへの積極参加
- (3) 「**ロータリーは人を育て向上させる場**」の認識を高め、会員基盤の向上を図り、会員増強に繋げる。  
……⇒永遠の課題、自己を高めよう！仲間を増やそう！
- (4) 「世界を変える行動人」として、海外との交流を通じて、国際理解と善意を育み**世界の平和を希求する**。—  
【ポリオ根絶】は世界平和の道標、ポリオ根絶活動を通じて、クラブの活性化を目指す。  
……⇒ポリオ根絶に参加して世界の平和に貢献しよう！
- (5) **ロータリーの未来のために、クラブ会員の積極的な参加を促し、地域社会にロータリーのストーリーを伝える**。  
**行動する事**が、「クラブの活性化」と「ロータリアン・ローターアクターの成長」に繋がる事を体感出来る地区運営を行う。  
……⇒未来に繋がる行動人を目指そう！

## [最重点項目] **我々はどこでどんなことを行動するのか！何を目指すのか！**

### 地区大会でロータリーファミリーと繋がろう！

- (1) 地区大会を年度前半〔2022年9月9日(金)～11日(日)〕に開催し、ロータリーファミリーが参加出来る新しい形の地区大会を作り上げる。大会のコンセプトは「情熱」「意欲」「感動」「感謝」。3日目に「ロータリーファミリーデー」を付随して開催する。

### 楽しいクラブへの行動計画を考えてみよう！

- (2) 戦略計画委員会と戦略計画推進委員会を新設し、地区ビジョンと地区行動計画の策定を行い、各クラブのクラブビジョン・クラブ行動計画の策定の支援を行う。

### 奉仕の理念を楽しく競うアワードを楽しもう！

- (3) クラブ運営支援部門ではクラブを強化することを目的として『ロータリー賞・意義ある奉仕賞』への理解促進を進め、全クラブ参加を推奨し、その目標達成を支援する。ロータリー情報の宝庫ともいえる My Rotary への登録率アップを図る。又、地区補助金を活用したプロジェクトを含めた、**全ての奉仕プロジェクトを対象とする表彰制度を創設する。**

## [重点項目] **チーム嶋村、花咲く舞台、地域社会を巻き込み多くの参加を呼びかけよう！**

- (1) 広報・公共イメージ部門が主管し、『世界を変える行動人』を体現する**ポリオデー2580**〔2022年10月23日(日)～24日(月)〕と**アースデー2580**〔2023年4月22日(土)〕を、ロータリーファミリーと一体になって開催する。
- (2) 2022年7月31日(日)に『**環境保全クリーン活動**』を展開する。環境保全委員会が主管して分区やクラブ単位で、地域の人々を巻き込みながら喜ばれる活動を行う。
- (3) ロータリーの未来への可能性に挑戦するロータリーファミリーのクロスプロモーション事業として2023年3月5日(日)に、(仮称)「**Rotary Future フェスタ**」を学友フェローズ委員会が主管して開催する。
- (4) IACのモンゴルスタディーツアー(2022年8月)を実施—新モンゴル高校 IAC との交流事業を通じて、アクターの国際理解を高める機会として実施する。
- (5) 青少年交換プログラムのジャパンツアーの一環として、IACとの交流事業を実施する。
- (6) 職業奉仕部門では、**ロータリーの奉仕理念**が確立された歴史を再認識する。『奉仕の理念を未来に繋ぐ』—「ロータリーの原点 “決議 23-34、から紐解く」と題する電子ブックを作成し、地区 HP にアップする。各クラブが『ロータリー運動の意義』を RC 内外に広める為の Take Action の開発を支援する。又、2023年1月の職業奉仕月間に行う “オープン例会ウィーク、” に使用出来る卓話データを作る。
- (7) ロータリーの日本の心といわれる米山奨学事業に新風を吹き込む。奨学生がロータリーを学ぶ機会と親睦を深める目的で米山親睦旅行を開催する。〔2022年9月3日(土)～4日(日)〕 又、意義深い米山期間修了式を多くの方に見ていただく為にオープン型で開催する。〔2023年3月4日(土)〕
- (8) 国際ロータリー第 3350 地区を中心に(タイの一部、ミャンマー、カンボジア、ベトナム)との交流を推進し、国際理解を高め国際親善を通じて、人道的支援の機会として、地区補助金活用事業や GG へのトライするクラブを増やす。又、海外にある米山学友会との交流を多面的に実施する。
- (9) 広報委員会で 2580YouTube チャンネル“Rotary Future”による、多目的プログラムを内外に発信する。ガバナー月信は、月信編集委員会が担務し、会長向けの情報提供を目的としてウェブ等で発信する。
- (10) ロータリー財団部門の補助金審査方法及び活動を見直す。社会奉仕部門と連携し、**奉仕活動実践の場を体感する目的で、他のクラブへの奉仕活動参加への道を作る。**地域社会で困っている人たちに手を差し伸べ、新しい奉仕の可能性にトライする。又、ロータリー平和センターへの関わりを強める。
- (11) IAC・RAC・衛星クラブ例会へのガバナー訪問を実施。スポンサークラブを交えてのフォーラム形式で行う。

## [強調事項] — 効果的な地区組織と研修体系の構築へ

### (1) 地区幹事体制の見直しと各運営部門長との連携強化

代表幹事1名一地区組織の管理運営を統括し、ガバナーを直接密着サポートする。

副代表幹事6名・幹事14名は、各委員会に所属し、積極的に活動すると共に、ガバナー補佐の責務を支援し、ガバナー公式訪問の随行を分担する。

### (2) ガバナー補佐への責務明確化

ガバナー補佐は担当クラブ単位での会長幹事研修会を持ち回りで開催し、親睦を図りながらロータリーを学び、語り合い自らがファシリテーターとなって「元気なクラブ作り」に全力で励む。

IM の開催は推奨せず、担当のクラブ単位での合同例会等を開催する。分区幹事は置かず、ガバナー補佐自らが汗をかき、担当クラブ会長幹事と一体となって担当クラブの活性化と親睦を深め合う努力を行う。

### (3) 未来を見据えた新しい取り組み

- ①2022年2月18日(金)に地区研修セミナーを東京、3月12日(土)～13日(日)にPETS&地区チーム研修セミナーを1泊2日で沖縄にて開催、4月に地区研修協議会を沖縄[4月8日(金)]と在京[4月15日(金)]で別開催として行う
- ②次年度ガバナー補佐及び会長エレクトの研修を次年度研修リーダーのもと計画的に行う。  
又、会長ノミニー研修(PNT)から会長エレクト研修(プレ PETS)を連動して実施し、沖縄での PETS を総仕上げとする。
- ③部門別研修は、各部門長が主管して開催する。厳選した講師の基調講演後に、ワークショップ形式のテーブルディスカッションを基本とし、各部門とコラボして「来て良かった研修」を行う。
- ④入会3年以内の会員にロータリーの素晴らしさを感じ、ロータリー大好きになる研修・TLR(Training to Love Rotary)をZoomで開催する。(2023年4月～6月)
- ⑤クラブ・レベルのロータリーの研修を強化・充実することを目的に「クラブ研修リーダー」の設置を推奨する。